

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度～		担当課室	総務課 医療安全推進室		室長:宮本哲也	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-4 医療安全確保対策を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	厚生労働省発医政0331第31号「医療施設運営費等補助金及び中毒情報基盤整備事業費補助金の国庫補助について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	診療の過程において予期しなかった死亡や診療行為の合併症等で死亡に至った場合に、正確な死因の調査分析を行い、同様事例の再発を防止するための方策を専門的・学際的に検討し、因果関係及び再発防止策を総合的に検討することにより、医療安全の推進を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	モデル地域に所在する医療機関が、患者遺族から解剖の承諾を得た上で診療関連死の調査分析を医療機関から依頼され、受け付けた事案について、解剖を行い、診療録や看護師等からの聞き取りによる臨床経過の調査を行って診療行為と死亡との因果関係の評価を行うとともに、集積された事例について、予防・改善策を検討し広く情報提供する。 また、本事業に従事する者及びその他関係者を対象にして、診療関連死の調査分析・評価のための人材養成研修を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	176	177	119	120	120
		補正予算					
		繰越し等					
	計	176	177	119	120	120	
	執行額	141	166	119			
執行率(%)	80.1%	93.8%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	受付件数	成果実績		受付17/80件	受付33/80件	受付26/30件	-
		達成度	%	21	41	87	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	報告書の交付	活動実績		-	24	32	-
		(当初見込み)			(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	4,583(千円/件)		算出根拠	119,155千円÷受付件数26件			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	医療施設運営費等補助金	120	120				
	計	120	120				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・医療界、患者団体など広く国民から期待されている事業であり、新たな死因究明の手法の開発に着手するなど、着実に実績をあげているところでもあって、優先度の高い事業である。
	-	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・単位あたりコストとして、受付1件あたりの費用は、22年度5,353千円、23年度4,583千円と減少している。 ・受益者である医療機関や遺族から調査に対する対価を得ることは難しく、全額補助事業であることはやむを得ない。 ・費目・使途については、事業目的に照らして真に必要なものに限定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・受付目標件数に対して、実際に受け付けた件数の割合が増加しており、達成度は着実に向上している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	当該事業のPRを積極的に行っていることから、受付事例数も増加傾向にある(24年度は7/31現在で15件を受付)ところである。また、単位あたりのコストの縮減に努めており、1件あたりのコストは減少しつつある。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業については、診療過程において予期し得なかった死亡等の場合に、因果関係及び再発防止策を総合的に検討することにより、医療安全の推進を図るための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業については、引き続き効率的な執行に努めていく。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	110	平成23年行政事業レビュー	0091

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
119百万円

【補助】

A. 一般社団法人 日本医療安全調査機構
119百万円

（ 業務内容は事業概要に記載 ）

資金の流れ
（資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する）（単
位：百万円）

A.一般社団法人 日本医療安全調査機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	担当の常勤職員・看護師等給与等	65			
諸謝金	解剖協力医、運営委員会等	27			
資料料及び賃借料	各事務局賃料等	9			
解剖費及び文書料	施設利用料等	5			
雑役務費	ホームページ保守料、システムの改修費用等	4			
印刷製本費	事案報告書印刷等	2			
通信運搬費	電話代、報告書送付料等	2			
その他	消耗品費、旅費 等	5			
計		119	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人日本医療 安全調査機構	事業概要に同じ	119		